

# 7月 給食だより

円町まぶしへ隣保園

2022年度



今年は例年ない早さの6月中旬に梅雨が明け、厳しい暑さの日々が続っています。暑い日が続くと身体が疲れやすく、食欲も衰えがちになります。夏を元気に乗り切る体力をつける為にも、三度の食事をしっかり食べ、十分な睡眠を取るようにしましょう。この時期に採る夏野菜は、たっぷりの水分を含む為、体温を下げ、様々なビタミンで身体の調子を整える働きをします。旬の食べ物は、その季節を元気に過ごす為のパワーの素がたくさん含まれているので、積極的に食べましょう。



## 旬の野菜 パプリカ

(ピーマンの一品種であり、目安として、100g以上の大型で肉厚な物をパプリカと呼びます。)



赤

カロテンを多く含み  
最も完熟に近いので、  
他の色よりも甘味が強い。  
脂身を効率良く燃焼  
させる効果の期待できる  
栄養素も含まれている事が  
わかった。

オレンジ

赤と黄パプリカ両方の  
栄養素を含んでいます。  
その他に若返りのビタミンと  
呼ばれる程のエイジング効果が  
期待出来るビタミンEも豊富です。  
口味は黄色よりも甘味が強く  
黄パプリカに近い。

黄

色素成分であるクロテノイドの  
一種で、肌の老化予防に  
つながるルテインを多く含む。  
さっぱりとした甘味で  
少し酸味を感じる。

豚肉

ビタミンB1、豊富

納豆

原材料の大豆はビタミンB1・カリウムが豊富

消化酵素と一緒に、栄養素の吸収もされやすい。

モロヘイヤ

カリウム・鉄・葉酸も野菜の中トップクラスの含有量

**熱中症を予防する食べ物**

栄養のポイントは、ビタミンB1・ビタミンC・カリウムを含む事!!

(疲労回復) (熱中症の回復を高める)

枝豆

ビタミンB1・カルシウム  
にんにく質が豊富

梅干し・(にんにく)

梅干しにはケン酸度が豊富。  
(にんにくは、血行を促し体温を温めると働きがある。ビタミンB1を一緒にとることで効率よく吸収される。)

## 折り紙でとまとの作り方

